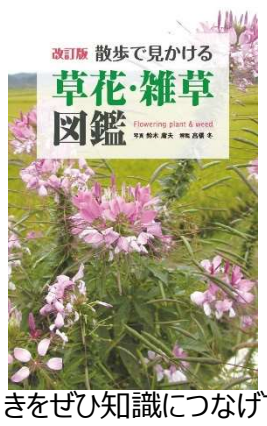
2021 年９月７日　　池坊短期大学図書館だより　　第１号

新しく図書館に入ったおすすめ本！

今回のおすすめ一言は、幼児保育学科の鵜川陽子先生からです!(＾＾)



コロナ禍で遠出が難しい状況下ですが、気分転換などで近所の公園や近隣を散歩する機会がこれまでより多くあると思います。ただ歩いているだけでなく、「きれいな花だな」「この樹木の葉っぱが青々としているな」などの自分の気づきをぜひ知識につなげて欲しいと思います。この本は普段目にする機会の多い草花や樹木などを中心に写真と共に名称など掲載されている本です。

【高橋冬　三省堂書店/創英社】

この本は日常的にあふれている言葉をよりよく相手に伝える言葉に置き換えるとどのような表現となるのか分かりやすく解説されています。

自分の伝え方一つで相手への印象も変わってきます。

自分の言葉による表現のスキルアップにもつながると思います。

【大野萌子　サンマーク出版】

日本にはその土地特有の言葉の文化があります。

47 都道府県の方言の意味や語感を分かりやすく解説されています。

自分が生まれ育った地域の言葉が共通語だと思い込んでいる場合も多くあります。

その地域の言葉の文化に触れ、意味などを理解するとより方言にも愛着がわくと思います。

【たかいよしかず　国土社】

「先生からおすすめ一言」のコーナーはいかがでしたか？
各学科、コースの先生方にも順番にお話を伺う予定です。おたのしみに！

「本」に関連の深い授業を担当の先生からひとこと・・・

[リーディング＆ライティングスキル]　星　優也　先生

私が担当する「リーディング＆ライティングスキル」は、文化芸術学科と環境文化学科の必修科目で、短大生になってから必要な、読む（リーディング）と書く（ライティング）の力（スキル）の取得がテーマになっています。

私たちは、何気なく読むこと、書くことができていますし、国語や現代文の授業で深く学んだ経験がある人もいるかもしれません。しかし、いま読む・書くことができる力は、果たしてどこまで〝正しい〟ものでしょうか？それに短大からはレポート課題が増えていきます。レポートもルールに基づいて書く必要があります。さて、どこまでできているでしょうか…？

この授業では、前半に文章表現の基礎を、後半はレポートはどう書けばいいのかについて学び、そして最後は、就職活動に深く関わる履歴書やエントリーシートの書き方から、社会人として必要なメールや LINE のマナーも学びます。

これらのスキルを身につけるにはどうすれば良いでしょうか？それは数多くの活字に触れることです。どれだけ本を読んだのか。または新聞を読んだのか。インターネット上の情報も欠かせない時代ですが、正しい現代日本語のルールに基づいて書かれた本や新聞の文章は、確実に私たちのリーディング＆ライティングスキルをアップさせてくれます。

社会に出るまでにたくさんのスキルを取得し、経験値を積んで、レベルを上げていってください。図書館はそんな皆さんをサポートできる場所の一つです。

保育内容演習「言葉と文化 A」近藤真理子先生
★★★★「本の帯」つくり★★★★

今回ご紹介した以外にも今年度もたくさん新しい本が入っています。

私たちは、一年を通して様々なイベントに参加しています。

これら「年中行事」を生活や文化の視点から見ると、思いもよらないことが見えてきます。

民俗学という目線から、「年中行事の文化」に迫ります。

【谷口貢・板橋春夫　八千代出版】

日本の古典文学として世界にも知られる『源氏物語』ですが、じつはいけばなの世界とも深く関わっています。

本書は、知られざる「源氏流いけばな」の世界へといざないます。ここから「文学と花」を感じてみるのもいいでしょう。

【岩坪健　平凡社】

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

学内の「本」にまつわる授業も順次紹介していきます！

興味を持った本があったら、ドンドン借りに来てください。返却日はきちんと守ってね！

９月９日は重陽の節句

本の帯は 9/21 から洗心館１階

ガラスショーケースでも展示する予定です。